

## 【国公立大学の出願ルール】

- ※ **前期日程・中期日程・後期日程は、同時に出願**する。中期日程や後期日程を、前期日程と別の日程に出願することはできない。
- ※ **前期日程を第一希望**の大学・学部を出願することが原則である。
- ※ 前期日程で合格し、入学手続をした後、中期日程・後期日程を受験することはできない。
- ※ 近年難関大を中心に、後期日程を廃止する大学・学部がある。
- ※ 少数だが、中期日程・後期日程のみで入試を実施する大学・学部もある。
- ※ 共通テストと個別試験の配点は大学によって異なる。
- ※ 前期日程の個別試験は、2～3教科を課す大学が多い。したがって、共通テストも含め、受験科目をしっかりと確認すること  
文系は「国語・数学・外国語」または「国語・外国語」のパターンが多い。  
理系は「数学・理科・外国語」または「数学・理科」のパターンが多い。
- ※ 後期日程は小論文や面接、総合問題を課す大学が多い。
- ※ **受験科目を安易に絞らないこと。**  
共通テストは、文理系ともに6教科8科目  
(国語・数学ⅠA・数学ⅡB・英語・地歴公民1 or 2科目・理科1 or 2科目\*・情報)が基本  
(\*理科基礎は2科目選択)  
科目を絞ると……受験できる大学が限定される可能性がある。  
科目数が少ない大学・学部を受験生が殺到し、高倍率になる。  
不得意科目や1科目でも失敗した科目があると、合格しづらくなる。

## 【私立大学の出願ルール】

- ※ 入試科目は、大学・学部によって多様である。
- ※ **多くの大学が、共通テストを利用している。**
- ※ 多くの大学が、福岡・広島・北九州などの地方受験会場を設けている場合が多くなっている。
- ※ 一部の大学では2月以降に出願でき、入試が2～3月に行われる場合がある。(後期日程)

## 【インターネット出願について】

パソコンやスマホの普及に伴い、国公立・私立ともにインターネット出願（以下、ネット出願）を実施する大学が増えてきたが、従来通り紙媒体での出願も可能な大学と、ネット出願しか受け付けない大学がある。

### ネット出願の基本的な流れ

大学へのネット出願は、ネットで出願登録するだけで全てが完了するわけではありません。

- ①各大学のネット出願サイトにアクセス、出願手続きの方法を確認。
- ②案内に沿って「志願者情報」「支払方法」「受験地」などを入力。必要書類をダウンロード。
- ③受験料を銀行やコンビニなどで支払う。大学によっては、出願サイト内でクレジット決済が可能。
- ④**出願書類**をプリンターで印刷し、必要事項を記入。  
**調査書や顔写真、健康診断書などの書類も大学に郵送する。**
- ⑤大学から受験票が送付される。